

平成24年11月

# なばり市議会だより

No. 66

市議会の動きをコンパクトにまとめてお伝えします。今号は 6月 9月 12月 3月 の定例会をクローズアップ

編集／議会広報特別委員会 発行／名張市議会 ●三重県名張市鴻之台1-1 ☎63-7834~5 ㊚64-8870 ✉gikai@city.nabari.mie.jp



## 第62代 議長 永岡 禎

【就任あいさつ】  
このたび、議員の皆様のご信任をいただき、第62代名張市議会議長に就任をいたしました永岡禎でございます。今後は、議長としての責務に全力を傾け、公正かつ円滑な議会運営に取り組んでまいります。

地方分権の進展により自治体の権限が強化され、市民の代表機関である市議会の果たすべき役割はますます重要になっております。私は、市民の皆様のご期待に応え、議員一人ひとりが努力を怠らず、信頼される名張市議会を目指します。

まずは、本年8月に立ち上げました「議会改革検討委員会」を中心に十分議論を尽くし、議会の政策立案・提言機能や監視機能の強化、議会からの情報発信・広聴機能の充実など、さらなる議会改革を進めてまいりたいと考えております。

市民の皆様におかれましては、名張市議会に対し、なお一層のご理解とご協力を賜りますようお願いいたします。

名張市議会議長 永岡 禎

## 新しい議長・副議長が 決まりました。

名張市議会では、昨年からの正副議長の選挙において「立候補制」を導入しています。これは、「開かれた議会」の取組みとして、立候補の機会均等、選出過程の透明化を図るためのものです。

平成24年10月3日に開催された第353回定例会の最終日、辞職に伴う正副議長選挙を実施し、議長選挙に2人、副議長選挙に2人の議員が立候補し、所信表明を行いました。その後、20人の議員による投票で議長・副議長が選出されました。



## 第64代 副議長 森岡 秀之

### 選出手順

#### ① 候補者の演説



●議長には、永岡禎議員と橋本マサ子議員が立候補  
副議長には森岡秀之議員と三原淳子議員が立候補

#### ② 20人の議員による選挙



●投票



●開票

#### ③ 新議長・副議長の決定

##### ●議長選挙

永岡 禎 議員……………18票(当)

橋本 マサ子 議員……………2票

##### ●副議長選挙

森岡 秀之 議員……………18票(当)

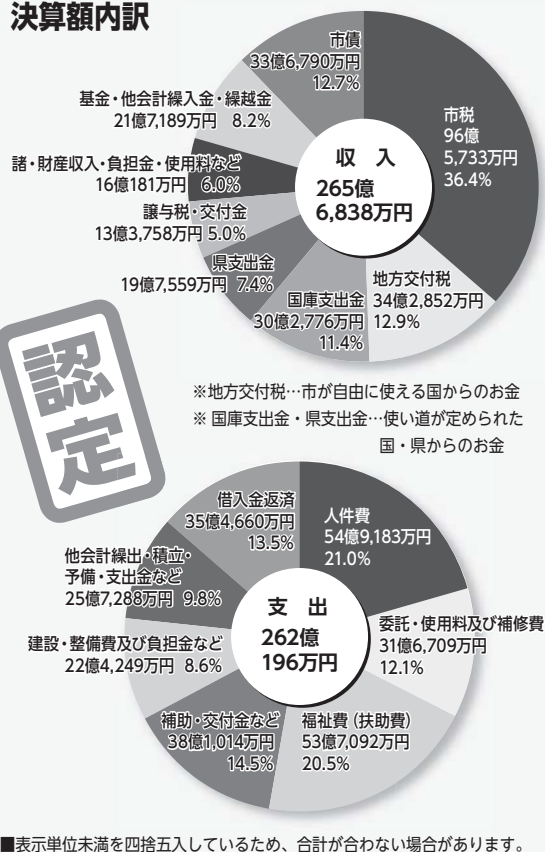
三原 淳子 議員……………2票

議長と副議長は「立候補制」で選出しています

議長と副議長は、届出のあった候補者から選出されます。その選出過程は公開していて、傍聴も可能です。

## 決算

平成 23 年度一般会計の決算は、歳入総額 265 億 6,838 万円。歳出総額 262 億 196 万円。特別会計の決算は、全 8 会計を総計すると、歳入総額 160 億 2,369 万円、歳出総額 152 億 9,803 万円。

平成23年度一般会計  
決算額内訳

認定

平成24年9月定例会で、  
補正予算など31議案を可決

トピック②

9月定例会(第353回)は、9月4日開会、10月3日閉会の30日間の日程で行われた。

提出された案件は、名張市産業振興基金の設置、管理及び処分に関する条例の制定1件、名張市応急診療所の設置及び管理に関する条例などの条例改正6件、市道認定1件、平成24年度一般会計・特別会計の補正予算3件、決算の認定10件、権利の放棄1件、人事案件3件、議員提出議案6件、損害賠償請求の和解についてなどの専決処分の報告11件、請願4件の全46案件である。これらの議案は本会議・決算特別委員会・常任委員会で慎重に審議し31議案を原案通り可決、請願4件を採択した。

一般質問は3日間行われ、9議員が登壇し市政全般について活発な議論がなされた。

## 補正予算

平成 24 年度一般会計の補正予算は、2 億 8,370 万円の増額補正で補正後の予算は 264 億 1,100 万円となった。特別会計予算では、国民健康保険指導経費 597 万円の増額、介護保険 8,590 万円の繰入金・返還金の増額である。

## Q&amp;A

9 議員の質問と、市長などの答弁をご紹介します (一部抜粋)。  
掲載内容は議員から提出された原文を尊重して、編集しています。

## 一般質問

## ● 学校教育

心風会  
幸松 孝太郎 議員

## Q いじめ防止条例は

伊勢市でもいじめによる自殺者事件が起こっている。この名張市においては決して起こさせないわけにはいかない。兵庫県小野市や岐阜県可児市のいじめ防止条例を参考に、名張市の条例作成に取り組むように提案したい。



## A 子ども条例に特化を

「子どものいじめ防止条例」の提案については、名張市には子ども条例があり、それに基づいて、問題解決に向けて取り組んでいる。この条例をすぐに改正しなければならぬとは考えていない。必要があるというところであれば、子ども部などの関係者で協議をしていきたい。後追いにならないように早い段階で、子ども条例の中に、「いじめ」のことを特化して加えていくこともあると考えている。

清流クラブ  
豊岡 千代子 議員

## Q 教育委員会のあり方

大津市のいじめ事件では、市教育委員会の対応や自浄能力のなさが浮きあがってきた。現行制度の中では委員のリーダーシップには限界があり、事務局の方針に追従する事が大半とされている。名張市においてもいじめはあるとされているにもかかわらず、定例委員会での議論は深く深刻さがうかがえない。事実を明らかにし情報を共有し合う事を期待する。

## A その機能を十分発揮

名張市ではいじめは皆無ではなく Q-U 調査(※)などで現状把握している。今後はこうした情報を明らかに共有する。学校・教育委員会と家庭・地域が連携していじめを早期発見し、悲劇を未然に防ぐ。教育委員会の機能を十分に発揮していきたい。



Q-U調査

暮らし

健康医療

日本共産党  
三原 淳子 議員



清風クラブ  
常俊 朋子 議員



清風クラブ  
森岡 秀之 議員



無党派  
浦崎 陽介 議員



公明党  
吉住 美智子 議員



心風会  
森脇 和徳 議員



Q 家庭ごみ袋の価格

家庭ごみ袋の年間販売額が1億円以上に及んでいる。市民は分別の手間と、袋の費用と共に負担が大きい。袋の値段を高くしてごみの減量を進めるといふものではなく、生産の段階からごみとなるものを作らないことが必要ではないか。指定ごみ袋は、青山地域と同一にし、原価まで引き下げることを求める。



指定ごみ袋

A 平成25年度に見直す

家庭ごみの有料化は、ごみ排出量の減少を目的に実施した。4年目である23年度は24%の減量で、成果が継続されている。引き続きごみの排出抑制を市民・事業者と共に啓発していく。指定ごみ袋の価格は、ごみ減量及び分別にご協力いただいた市民の皆様への還元として引き下げを検討する。

Q 配食サービスの支援

配食サービス事業は、高齢者福祉事業として需要が高くなると考える。地域配食サービス活動を継続させるための支援を求める。

A 今後も引き続き支援

地域の配食サービスは、高齢などの理由により調理が困難な人を定期的に訪問し、調和のとれた食事を提供するとともに安否確認・健康状態の確認を行う事業。平成23年度は649人に年間2万食余りを提供していただいた。行政の配食サービスと同様、一人暮らし高齢者を身守り、安心安全な地域生活を支えている。名張市社会福祉協議会と連携を図り支援に努める。



配食サービスを担うボランティア

Q SOSシステムとは

市内で認知症の高齢者が行方不明になった場合に行う従来の捜索活動と、平成24年8月24日に立ち上がった「地域SOSシステム」との違いは何か。



A 地域で捜索活動開始

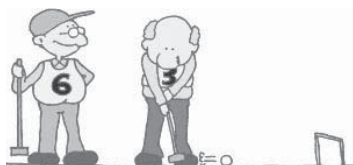
今までは、地域住民や消防団が協力して捜索にあたっていたが、手順が決まっておらず、情報が交錯するなどの課題があった。今回のシステムで、地域づくりの代表・区長・自治会長が中心となり、市や警察と連携し、捜索情報の協力を郵便局・福祉施設など各事業所にもお願いしながら、早期発見に取り組む市民総ぐるみの体制が整った。家族からの依頼により開催する事前協議の段階から、消防本部や危機管理室が加わり共に対応する。

Q 屋内ゲートボール場

平成23年6月22日に名張市老人クラブ連合会、名張市ゲートボール協会から屋内練習ができる多目的グラウンド整備の要望書が提出された。名張市の今後の計画等を問う。美旗地区の農村公園に多目的グラウンドの計画があるが、ゲートボールだけではなく、サッカーや野球もできるよう求める。

A 総合的に検討する

市直営のゲートボール場は3カ所あるが、屋根付きのグラウンドなど、高齢社会に伴うスポーツ推進が必要である。そのための環境整備を総合的に検討する。



Q ピロリ菌検査の導入

ピロリ菌は、胃の中に好んで住みつき、胃潰瘍や胃がんの原因の一つとされている。日本人の約50%以上が感染し胃がんのリスクを高めることから、国際がん研究機関では、発がん因子と認定している。大腸がん検診の検便キッドを活用し、便中ピロリ菌検査ができる。大腸がん無料検診クーポン券配布とあわせて、ピロリ菌検査を導入すべきだ。



A 国の動向を注視

日本ヘリコバクター学会は、がん予防としてピロリ菌感染者全員に除菌を勧める指針を発表している。公的医療保険で認められているのは、胃潰瘍・十二指腸潰瘍など数疾病に限られている。医療的動向の進展、医療保険適用の動向を注視し検討する。

Q なぜ無料入浴券配布

議員全員に報告もないまま、温浴施設の無料優待券を特定の市民・団体・個人に配布したのは大きな問題だ。このような配布方法は不公平であり、観光や健康福祉の増進が目的というが、市がもっとも支援すべき施設である「これたて名張交流館」の売上にも直接的な効果も見込めない。手法と手段に公益性がまったく感じられない。予算も既決予算の一般財源を流用して措置したようだが、違法性すら懸念される。

A 公益性がある

市民待望の施設であり、年間50万人の観光客が訪れる観光施設だ。公益性は十分あり、経済波及効果や「まちの駅」として新たな観光ルートの開発も企画している。おり、大いに期待している。



## 健康医療

公明党

富田 真由美 議員



## Q 往診対応医師を

高齢社会を迎え、在宅医療に対する要望はますます高まっている。在宅医療を望んでいる人は6割を超えるが、現状は医療機関で亡くなる人が全体の80%を占め在宅は12%程度。在宅医療・在宅介護を進めるうえで往診体制は基盤となる。市立病院に往診対応の医師の配置が必要ではないか。



## A 研究について

市立病院は平成24年6月、地域医療支援病院に承認された。地域医療への貢献は不可欠で果たす役割は大きい。在宅医療を担う総合診療科の医師3人、研修医1人が勤務。非輪番日における在宅患者と諸課題について研究をしている。将来的には、補完する医師のチームが必要になることも考えられる。

## Q&amp;A その他質問

日本共産党

橋本 マサ子 議員



## Q 国保税の負担軽減を

国民健康保険の加入者は、国の財政削減で高額な税負担を強いられている。格差社会が横行する中、社会的弱者の救済が急務だ。基金を取り崩して国保税を引き下げるとともに、一部負担の減免制度の導入を求める。

## A 調査検討

平成23年度国保会計決算は、基金と剰余金を合わせると12億円余となる。一般会計に余裕がなく、医療費増加の懸念もあり取り崩せない。一部負担の減免制度については、実態を調査し検討する。

清流クラブ

高田 稔嗣 議員



## Q 安心空間整備は

洪水・土砂災害ハザードマップが配布された。防災マップより8年の時間が経過した。総合計画は、理想郷プランから安心して住み続ける住空間の整備と福祉の理想郷空間を目指している。現状の整備進捗状況を問う。

## A 国・県に要望

行政として、安心空間整備

清流クラブ

山下 松一 議員



## Q サッカー場の整備を

ロンドンオリンピックで活躍した山口瑩選手のような人材を育成するためには、サッカー場の整備がぜひとも必要だ。その他の競技種目関係者とも協議しながら、一刻も早くサッカー場を含む競技施設の全面的な整備計画を立て、整備を進めていただきたい。

## A 全体計画が必要

新たな施設の整備は難しいが、サッカー人口は増加しており、サッカー施設の整備は必要だ。陸上競技場の再整備を含め、全体的な整備計画を作る必要がある。



名張市陸上競技場

に務めている。あわせて国・県に対し河川整備などの整備促進を要望している。

## 新体制をご紹介します

## ● 監査委員



吉住 美智子

※監査委員は市長から選任されます。

## ● 議会運営委員会

福田 博行  
(委員長)細矢 一宏  
(副委員長)

森脇 和徳



高田 稔嗣



橋本 マサ子



柳生 大輔



山下 松一



(上段左から) 常俊朋子議員、幸松孝太郎議員、浦崎陽介議員、細矢一宏議員、高田稔嗣議員、田合豪議員、三原淳子議員、森脇和徳議員、吉田正己議員、豊岡千代子議員、富田真由美議員  
(下段左から) 川合滋議員、橋本マサ子議員、山下松一議員、森岡秀之副議長、永岡慎議長、吉住美智子監査委員、柳生大輔議員、福田博行議員、石井政議員

● 常任委員会

総務企画委員会



田合 豪 吉田 正己 細矢 一宏 吉住 美智子  
(委員長) (副委員長)



永岡 慎 橋本 マサ子 柳生 大輔

教育民生委員会



川合 滋 常俊 朋子 森脇 和徳 三原 淳子  
(委員長) (副委員長)



高田 稔嗣 石井 政 山下 松一

産業建設委員会



富田 真由美 豊岡 千代子 森岡 秀之  
(委員長) (副委員長)



幸松 孝太郎 浦崎 陽介 福田 博行

● 議会広報特別委員会



幸松 孝太郎 吉田 正己 豊岡 千代子 森脇 和徳 細矢 一宏 三原 淳子  
(委員長) (副委員長)

全員協議会 予算・決算部会

◎石井 政 ○三原 淳子 富田 真由美 常俊 朋子  
幸松 孝太郎 高田 稔嗣 川合 滋 福田 博行  
(◎：部会長 ○：副部会長)

第 353 回定例会 審議結果

全会一致

産業振興基金の設置、管理及び処分に関する条例の制定／応急診療所の設置及び管理に関する条例の一部改正／暴力団排除条例の一部改正／公共下水道条例の一部改正／災害対策本部条例の一部改正／防災会議条例の一部改正／火災予防条例の一部改正／市道路線の認定／平成24年度一般会計補正予算／平成24年度国民健康保険特別会計補正予算／平成24年度介護保険特別会計補正予算／平成23年度住宅新築資金等貸付事業特別会計歳入歳出決算／平成23年度東山墓園造成事業特別会計歳入歳出決算／平成23年度農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算／平成23年度公共下水道事業特別会計歳入歳出決算／平成23年度病院事業会計決算／平成23年度水道事業会計決算／権利の放棄（土地開発公社に対する債権放棄）／教育委員会委員の任命についての同意／公平委員会委員の選任についての同意／監査委員の選任についての同意／中小企業の成長支援策の拡充を求める意見書／義務教育費国庫負担制度の存続と更なる充実を求める意見書／保護者負担の軽減と就学・修学支援に関わる制度の拡充を求める意見書／「教職員定数改善計画」の着実な実施と教育予算拡充を求める意見書／防災対策の見直しをはじめとした総合的な学校安全対策の充実を求める意見書

表決が分かれた議案

平成23年度一般会計歳入歳出決算の認定／平成23年度国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定／平成23年度介護保険特別会計歳入歳出決算の認定／平成23年度後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定／税制の抜本改革の確実な実施を求める意見書

■ 採決の結果は、上記のいずれの案件も右表のとおり

会派	無会派	日本共産党			清流クラブ			公明党				心風会				清風クラブ			
議員名	浦崎	三原	橋本	豊岡	高田	田合	富田	細矢	吉住	石井	幸松	森脇	永岡	川合	柳生	常俊	森岡	吉田	山下
	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※議長は採決に加わりません。○は賛成した議員、×は賛成しなかった議員

請願

- 義務教育費国庫負担制度の存続と更なる充実を求める請願……………採択
- 保護者負担の軽減と就学・修学支援に関わる制度の拡充を求める請願……………採択
- 「教職員定数改善計画」の着実な実施と教育予算拡充を求める請願……………採択
- 防災対策の見直しをはじめとした総合的な学校安全対策の充実を求める請願……………採択

ホームページで会議録をご覧ください

名張市議会、名張市議会事務局（市役所ホームページ内）のホームページからアクセスできます。☎ <http://www.city.nabari.lg.jp/gikai/>

おことわり

議員のお祝い金などの寄付行為につきましては、公職選挙法により禁止されています。皆さまのご理解をお願いします。

ご意見・ご要望をお待ちしています

議会広報特別委員会（議会事務局 ☎ 63 - 7834）

編集後記

「なばり市議会だより」№ 66 号はいかがでしたでしょうか？議会広報特別委員会では本格的な紙面刷新を目指し議論を重ねて編集をいたしました。今後も新しいアイデアを盛り込んで、思わず手にとって見たいくなる紙面内容となるよう頑張っております。ご期待ください。 Y.K

12月 議会の日程

※ 予定を変更する場合があります。

- 12月 4日 開会  
7日 一般質問  
10日 一般質問  
11日 一般質問  
12日 補正予算  
13日 総務企画委員会  
14日 教育民生委員会  
17日 産業建設委員会  
20日 採決

開会時間は午前 10 時からです。ぜひ、傍聴にお越しください。一般質問はケーブルテレビで放映されます。